

福山平成大学



情報通信機器を安全に活用し、充実した大学生活を送るための

情報セキュリティパンフレット

福山平成大学では、各種の
学生向け情報サービスを
提供しています。

パソコンやスマートフォン
などの情報通信機器を
安全に活用しましょう。



学生ポータルシステム
Zelkova



学修支援システム
Cerezo



Office365



インターネットの普及により、パソコン、スマートフォンなどの**情報通信機器**を使って、見知らぬ人と**交流**したり、世界に**情報を発信**したりするなど、昔は困難だったことが容易になりました。



パソコン、スマートフォンなどの**情報通信機器**は、学修や離れた仲間との交流など、**大学生活の充実**に役立ち、学生生活を豊かにしてくれます。

福山平成大学でも、学生が無料で使える**コンピュータ演習室**や **Wi-Fi スポット**など、最新の**情報通信機器**を**充実**させています。種々の**学生向け情報サービス**も整備しています。



学生の皆さんは、**情報通信機器**を使いこなし、有意義な大学生活を送ってください。一方で、見知らぬ人からの**誘惑**や**罠の危険**、**情報通信機器**を使ったちょっとした行為が、**他人に迷惑をかける可能性**にも注意して欲しいのです。

このパンフレットでは、**情報通信機器**を活用するとき、**誘惑**や**罠**から自分を守るために気を付けて欲しいこと、**他人に迷惑をかけないために心がけて欲しいこと**をまとめています。ぜひ、活用してください。



情報通信機器を安全に活用するための 3 か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができたり、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や罠の危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

1. コンピュータウイルスから自分を守る

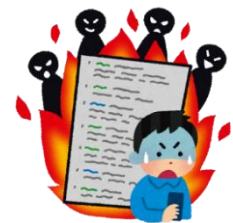
コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Web ページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「添付の PDF ファイルは重要情報!」のように巧妙な手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。



- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意しましょう。
- Web ページでも「ここをクリック!」と書いてあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻繁にアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。
※ ウイルス対策ソフトウェアには、無料のものもあります。

2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などでの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。



- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や履歴書のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットに書き込む行為はやめましょう。自宅周辺などの写真は、自分の住所が特定できる材料となり大変危険です。
- 家族のこと、友人のこと、知り合いのことなど、自分以外の人のことをインターネットに書き込むときには、その人たちのプライバシーや感情に十分に配慮を。
- その場の感情のみで書き込まず、落ち着いた気持ちで書き込むように。自分の恥ずかしい体験、人への不満、いたずら自慢などは、うっかり書き込んだとき、あとで読み返してみると恥ずかしくなるものです。
- 脅迫めいた表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を振り込め!」、「解約したければ電子メールで連絡を!」、「住所と名前を知らせろ!」、「電話しろ!」、「1週間以内に振り込まなければ」などの怖い表示に出会う場合もありますが、慌てずに、信頼できる人に相談してみましょう。

3. パスワードをきちんと管理する

パスワードは、福山平成大学の情報通信機器や学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは皆さん自身の身分を証明するとても大事なものです。



- 自分が利用する情報通信機器（パソコン、携帯電話など）には、面倒でも必ずパスワードを設定する。パスワードを他の人に教えてはいけません。
- 学校などの公共のパソコンを使っていて、ログインしたまま席を離れるとパスワードを盗まれる危険があります。席を離れる時は必ずログオフするようにしましょう。
- 生年月日や電話番号、辞書に載っている単語などをパスワードに使うと危険です。他人に推測されやすいパスワードは避けましょう。パスワードの重要性や適切な管理方法を学ぶとともに、破られにくい強固なパスワードを使うように心がけましょう。

各自で点検しましょう

情報通信機器はとても便利です。でも、情報の紛失、情報漏えい、うっかり違法な行為を行うなど、危険もあります。危険から自分を守るために、皆さんに守って欲しいことをまとめました。各自で点検しましょう。

① 紛失・盗難に注意しよう

ノートパソコン、携帯電話、USB メモリ、SD カードなどには、**大切な情報が入っています**。なくしたり、盗まれたりしないように注意しましょう。



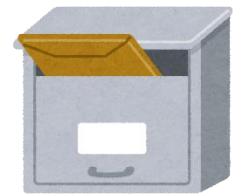
② 大事な情報は、前もって複製しておこう

学校に提出するレポート、友人との思い出の写真などの貴重な情報は、パソコンなどが故障してもなくならないように、別の **USB メモリや SD カードなどに複製**（バックアップ）して、保管しておきましょう。



③ 電子メールでの宛先ミスに気を付けよう

電子メールで大事な情報を送るときは、違う人に送ってしまうことがないように、**正しい宛先になっていること**を十分に確認しましょう。



④ 歩きスマホは危険なのでやめる

歩行中にスマホなどを操作するのは危険です。転倒や衝突などの事故を招きます。周囲の人を事故に巻き込む場合もあります。入院や死亡に至る場合もあります。車両（自転車、バイク、自動車）の運転中も、携帯機器を使ってはいけません。



⑤ スマホ依存症、パソコン依存症にならない

あまりにも長時間、スマホやパソコンなどの電子機器に熱中するのは、健康によくありません。ストレスの原因にもなります。みなさんの周りに、電子機器のゲームやメールなどに長時間没頭している人はいないでしょうか。せっかくの楽しい大学生活の時間を、電子機器だけに使うのは、もったいないかも知れません。



⑥ インターネットでの言動も、多くの人に見られていることに気をつけよう

アルバイト、インターンシップなど、社会の一員として活躍することは良い体験になります。このとき、**仕事で知った情報を漏らすことや不満や悪口など言うことはやめましょう**。特に、インターネットを使つての言動には十分に注意しましょう。社会の責任ある一員として振る舞ってください。



⑦ 違法コピーは絶対にしない

ソフトウェア、種々のコンテンツ（映画、音楽など）を**違法にダウンロードすることや違法にコピーすることは法律で禁止されています**。販売などで利益を得るのはもつての外です。



⑧ P2Pファイル共有ソフトウェアは使わない

P2P（ピアツーピア）と呼ばれる**ファイル共有ソフトウェアは、実はとても危険**です。違法コピーに加担してしまう、コンピュータウイルスの感染を広げてしまう、重要な情報を漏えいしてしまうなど、危険がいっぱいです。



⑨ 剽窃や著作権侵害を行わない

「他人の文章やアイデアを盗んで、自分のものとして発表すること」を剽窃ひょうせつといいます。「著作者の許可なく、著作物を利用すること」を著作権侵害ひょうせつといいます。剽窃や著作権侵害を行ってはいけません。



- ・ **他の人が作成した情報（文章や写真など）を丸ごとコピーしたり、切り取ったりして、自分のものとして発表してはいけません**。授業でのレポート作成、ブログや掲示板での情報発信等で、十分に気を付けて下さい。
- ・ 引用する場合には、引用元の情報と、引用した部分とが明確に分かるように示しましょう。
- ・ 過度な引用は、剽窃や著作権侵害の恐れがあるので注意しましょう。

⑩ 情報通信機器を悪用すること、公序良俗に反することは絶対に行わない

情報通信機器を安全に活用しましょう

情報通信機器を活用することで、さまざまな可能性が広がります。

- ☐ インターネットなどを活用して、情報収集を行う。
- ☐ ワープロ、表計算などパソコン活用能力を身に付ける。
- ☐ 情報を整理し、分かりやすく伝えるプレゼンテーション能力を磨く。
- ☐ インターネットなどを活用して、仲間や家族との交流を深める。
- ☐ インターネットなどを活用して、異なる文化や異なる価値観を持つ人たちと対話、交流する。

福山平成大学では、情報通信機器や学生向け情報サービスを整備しています。

◆ 学生情報配信システム・ゼルコバ (Zelkova)



学生の皆さんの履修、成績、就職支援などを行います。

◆ 学修支援システム・セレッソ (Cerezo)



大学の授業や家庭での予習や復習などを総合的に支援します。小テスト、レポート提出、教材配布、お知らせの掲示などを行います。

さらに、就職試験 (SPI)、日商簿記検定 3 級、IT パスポート試験、TOEIC などの e ラーニング教材を活用した自学・自習が簡単にできます。

◆ マイクロソフト・オフィス製品 (Office365)



アプリとクラウドサービスをセットにした、マイクロソフト社が提供するサービスです。学生の皆さんは、オフィス製品を無償で利用できます。

◆ Web メールシステム (Outlook on the web)



Web ブラウザを使って簡単に電子メールが使えるシステムです。

◆ コンピュータ演習室 (5 号館)

パソコン、プリンター、プロジェクターなどを設置した演習室を複数整備しています。授業や自学・自習に利用できます。

◆ 福山平成大学 Wi-Fi スポット

学内でインターネットを利用できる学内無線 LAN です。アクセスポイントを学内の主要箇所に設置しています。



情報セキュリティに関して、何か困ったとき、相談したいときには

福山平成大学 情報基盤センター

場所： 福山平成大学 5号館1階 5102室

電話： 084-972-5001（代表）

電子メール（情報セキュリティ専用）： csirt@heisei-u.ac.jp

ホームページ： <https://www.heisei-u.ac.jp/institution/itc/>

2号館1階事務局の窓口でも相談することができます。

情報セキュリティパンフレット

編集・発行： 福山平成大学 情報基盤センター

発行日： 2019年4月

© 福山平成大学